

国の目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

村基本目標1 地域資源を活かし村民が稼げる村をつくる

【2024 年度数値目標】 観光交流人口 100 万人を目指す【単年】
(基準値 H30 : 76 万人、R1 : 79 万人、R2 : 37 万人)

事業効果の評価

2024 (R6) 年度 KPI に対して進捗状況で評価

5 : 進捗率 100%以上 4 : 80%以上～100%未満
3 : 60%以上～80%未満 2 : 40%以上～60%未満
1 : 20%以上～40%未満 0 : 20%未満

短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2020 年度（R2）の取組み	2020 年度（R2）KPI 進捗率	2024 年度(5 年後) KPI(業績評価指数)	R2 評価 (5 段階)	評価の内容	次年度 R3 以降の取組み	見直しの 要・不要
観光	○村内観光施設の周遊 ○「観る観光」から「体感する観光」 ○産業間連携等	茶臼山高原の新たな魅力づくり ・萩太郎山頂テラス整備 ・芝桜園地整備 ・リフト下へのサンパチェンスの 植栽 ・観光施設のコロナ感染防止対策 の実施	R2 計：37 万人 4～6 月 5 万人（▲43 万 人） 7～9 月 14 万人（±0） 10～12 月 10 万人（▲1 万人） 1～3 月 8 万人（+2 万人）	・季節ごとの交流人口の増加【単 年】（四半期ごとに 6 万人ずつ増 加）24 万人(新規) R1 計 79 万人（基準値） 4～6 月 48 万人【0%】 7～9 月 14 万人【0%】 10～12 月 11 万人【0%】 1～3 月 6 万人【33%】	0	・コロナ禍による芝桜まつりの中止 による、交流人口の大幅減少があっ たが、夏季、冬季は天候に恵まれ、 例年を上回る交流人口があった。	コロナ禍の中、県内での自然 体験志向に対応すべく、施設 の整備を進める	不要 【商工観光課】
農 林 水 産	○農林水産物の新たな特産品 開発、生きがい農業 ○チョウザメなどの新しい水 産業の展開 ○循環型林業の推進、間伐材 利用促進、基盤整備	・奨励作物の推進 ・鳥獣害対策 ・いきがい農業の推進 ・淡水魚養殖の推進 ・木材利用推進（とよね木サイク ルセンターの運営）	①農林水産業従事者【累計】 R2： 17 人（+5 人） ②木質ペレット生産量 R2： 96 t	①農林水産業従事者数【累計】 2024 までに 20 人（+8 人） （R1 12 人） 【5 人／8 人=63%】 ②木質ペレット生産量【単年】 120 t（R1：94 t） 【96 t／120 t=80%】	3	・淡水魚養殖関係者の増加は図られ なかった。 ・木質ペレット利用は、コロナ禍の 状況の中、微増することができてい る。	・引き続き、新規養殖者の確 保に努めていく。 ・木質ペレットの普及拡大に 引き続き努める。	不要 【農林土木課】
商 工 業	○新たなお土産や特産品開発 ○買い物弱者対策と合わせた 商店街振興対策	・小口融資事業の実施 ・小口融資事業(新型コロナ対策 分)の実施 ・プレミアム商品券販売 ・地元産品販売促進	R2： 10,306 千円	・村内観光施設における地元産 品販売額【単年】 10,000 千円(新規) R1:11,842 千円 R2:10,306 千円 【10,306 千円／10,000 千円=103%】	5	コロナ禍による交流人口の大幅減少 により、販売実績が減少した。	新たな地元産品取扱い事業所 の開拓に努める	不要 【商工観光課】 【農林土木課】
起 業	○起業家補助制度	・起業家支援事業補助金の活用	申請数 件(累計値) R2：2 件 林商店、内藤克幸	・起業支援数【累計】 2024 年までに 5 件 【2 件／5 件=40%】	2	多様化する働き方の受け皿となる職 種が限られているため、起業する意 欲のある方を支援策として、引き続 き促進を図っていく。	昨年度、起業というよりも特 産品開発の応援事業もあった ため、起業支援とのすみ分け を検討する必要がある。	不要 【地域振興課】

国の目標2 地方とのつながりを築き、地方へ新しい人の流れをつくる

村基本目標2 地域ぐるみで人を迎え入れる

【2024 年度成果目標】 3家族定住促進【単年】

1 家族 3 人（大人 2、子 1）想定
(R1：1 家族 2 人、R2：4 家族 14 人)

事業効果の評価
2024 (R6) 年度 KPI に対して進捗状況で評価
5：進捗率 100%以上 4：80%以上～100%未満
3：60%以上～80%未満 2：40%以上～60%未満
1：20%以上～40%未満 0：20%未満

■短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2020 年度（R2）の取組み	2020 年度（R2）KPI 進捗率	2024 年度(5 年後) KPI(業績評価指数)	R2 評価 (5 段階)	評価の内容	次年度 R3 以降の取組み	見直しの 要・不要
定住促進	○住宅環境整備（公営住宅・空き家等） ○空き家活用による集落維持・活性化 ○住生活基本計画の推進	・住生活基本計画の推進	①公営住宅整備【累計】 R2 0 戸 ②新築・空き家等リフォーム支援【累計】 R2 リフォーム 3 戸	①公営住宅整備【累計】 5 戸 【0 戸／5 戸＝0%】 ②新築・空き家等リフォーム支援【累計】 2 0 戸 【3 戸／20 戸＝15%】	1	①入居率 65%であり、入居状況に応じて整備を進めていく。 ②新たに補助金を KPI に掲げたことで、定住促進に向けた取り組みを推進していくことができた。	①老朽化した住宅の改廃について検討していく。 ②新たに空き家のリフォーム補助を新設したため、移住定住へ向けた取り組みを応援していく。	不要 【地域振興課】 【農林土木課】
関係人口	○友好パスポート事業の実施 ○サウジ・キルギスとの交流促進 ○広域連合・県境域などと連携した取り組みの推進 ○ふるさと村民制度の充実	○ほの国こどもパスポート及び豊根村友好自治体パスポート（豊明市、飛島村）3,671 人利用 ○フレンドシップ事業中止 ○県境域開発協議会 ・スポーツ交流会、文化交流会が中止 ・スタンプラリー330 人	①交流人口【単年】 R2 4,001 人 ②ふるさと村民登録者【累計】 R2 179 人 ③ふるさと納税者数【単年】 R2 136 人	①交流人口【単年】 8,000 人（R1:4,481 人） 【4,001 人／8,000 人＝50%】 ②ふるさと村民登録者【累計】 200 人 （R1:179 人） 【179 人／200 人＝90%】 ③ふるさと納税者数【単年】 100 人 （R1:94 人） 【136 人／100 人＝136%】	3	・コロナ禍により事業中止や営業縮小など影響を及ぼしている。反面、ふるさと納税者は巣ごもりの影響も考えられ目標達成した。	東三河や県境域開発協議会・友好自治体などとの交流やふるさと村民登録、ふるさと納税の促進を引き続き図っていきたい。	不要 【地域振興課】
人材・女性活躍	○地域おこし協力隊や緑のふるさと協力隊などの外部人材受入れ ○女性活躍支援（働く女性の子育て支援、環境づくりなど）	・地域おこし協力隊の受入れ ・緑のふるさと協力隊の受入れ	R2 2 人 (地域おこし：2 人)	・協力隊の受入数【単年】 4 人 （R1:3 人） 【2 人／4 人＝50%】	2	地域おこし協力隊の新規受入れ人数が 0 人であったため引き続き PR に務めたい。	外部人材の受入れを引き続き行い、移住定住へ繋げ地域の担い手や活性化へ繋げていきたい。また、地域おこし協力隊の PR も積極的に取り組んでいく。	不要 【地域振興課】

【国の基本目標 3】結婚・出産・子育ての希望を叶える

村基本目標 3 現役世代しっかり応援

【2024 年度成果目標】 小中学生の児童生徒数60人
(R1：62 人、R2：47 人)

事業効果の評価

2024 (R6) 年度 KPI に対して進捗状況で評価

5：進捗率 100%以上 4：80%以上～100%未満
3：60%以上～80%未満 2：40%以上～60%未満
1：20%以上～40%未満 0：20%未満

短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2020 年度（R2）の取組み	2020 年度（R2）KPI 進捗率	2024 年度(5 年後) KPI(業績評価指数)	R2 評価 (5 段階)	評価の内容	次年度 R3 以降の取組み	見直しの 要・不要
子育て世代支援	○子育て世代支援の実施	①結婚・出産祝金 ②子どもの医療費助成 ③保育料無償化 ④保育園通園補助 ⑤保育園給食費無償化 ⑥遺児手当 ⑦放課後児童育成事業 ⑧母子保健事業 ⑨予防接種事業	R2 9 事業実施	○子育て世代支援の実施 9 施策 【9 施策／9 施策=100%】	5	子育て世代支援については、目標の 9 施策は構築されているが、コロナ感染防止のために十分にできなかった施策がある。	引き続き子育て支援を実施していくが、施策の内容をより充実したものとして取り組んでいく。	不要 【住民課】
医療福祉健康	○保健指導の充実 ○医療体制の充実や ICT 活用 ○事業所間の連携	・地域サロンの支援 ・とよね健康マイレージの実施 ・医師の雇用継続により週 5 日診療を維持	①地域サロンの参加者数 R2 1,082 人 ②とよね健康マイレージ参加者数 R2 176 人	①地域サロンの参加者数【単年】 1,000 人（新規） 【1,082 人／1,000 人=108%】 ②とよね健康マイレージ参加者数【単年】 300 人（R1:159 人） 【176 人／300 人=59%】	3	①地域サロンの参加者数は、目標を達成しているため評価は、5 ②とよね健康マイレージ参加者数は、目標の 59%のため評価は、2 ここでの総評価は、3 とする。	とよね健康マイレージの参加者数が、目標に達成されていないため、積極的に推進していく。	不要 【住民課】
学校教育	○特色ある教育の推進 ○保育園・小学校・中学校の連携 ○田口高校との中高一貫教育連携	・中学校海外研修補助、国内研修補助、通学バス補助、小中学生スキー教室補助、中高一貫教育、学校給食費無償化	①中学校海外研修：中止 ②国内研修：中止 ③通学バス補助：実施 ④小中学生スキー教室補助：実施 ⑤中高一貫教育：実施 ⑥学校給食費無償化：実施	・特色ある教育事業数の維持 【累計】 6 事業 R2: 学校給食費無償化(新規) 【6 事業／5 事業=120%】	5	コロナ禍により、研修事業は中止となったが、新規に学校給食費無償化を実施することとなり、5 事業から 6 事業に拡充することができた	現役世代への支援につながる施策であるため、今後も積極的に取り組む	不要 【教育委員会】
生涯学習	○生涯学習の場の充実	・体育協会、文化協会活動（体協 198 人・文協 59 人） ・コミュニティースクール活動 とよね未来塾 開催日 117 日 平均利用人数 8 人 合計 936 人 地域サークル等活動 77 人 その他の地域学校協働活動 69 人	①生涯学習活動の参加者数 R2 0 人 ②コミュニティースクール地域学校協働活動参加者数 R2 1,082 人	①生涯学習活動の参加者数【単年】 380 人（R1:313 人） 【0 人／380 人=0%】 ②コミュニティースクール参加者数【単年】 850 人（新規） 【1,080 人／850 人=127%】	4	・生涯学習活動は、コロナ禍により参加人数が減少 ・新規事業であるコミュニティースクール活動は、年間を通して参加者が多く、ニーズが高いことが分かった	コロナ禍により活動が中止とならなければ実施する。今後も、継続した取り組みが必要である。	不要 【教育委員会】

【国の目標4】ひとが集う安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

村基本目標 4 みんなが安心して暮らせる村をつくる

【2024 年度成果目標】 行政区の維持 5地区
(R1：5 地区 R2：5 地区)

事業効果の評価

2024 (R6) 年度 KPI に対して進捗状況で評価

5：進捗率 100%以上

4：80%以上～100%未満

3：60%以上～80%未満

2：40%以上～60%未満

1：20%以上～40%未満

0：20%未満

■短期・中長期の工程表

	具体的な施策	2020 年度（R2）の取組み	2020 年度（R2）KPI 進捗率	2024 年度(5 年後) KPI(業績評価指数)	R2 評価 (5 段階)	評価の内容	次年度 R3 以降の取組み	見直しの 要・不要
生活 基 盤	○道路の整備 ○生活基盤の維持 ○買い物支援システムの活用 ○村営バスの運行 ○情報通信整備	・道路の整備 ・生活基盤の維持 ・買い物支援システム「おつかいポンタ便」運行 ・村営バスの運行	①おつかいポンタ便の利用回数 R2 51 回(5 名) ②村営バスの路線維持 R2 5 路線	①おつかいポンタ便の利用回数 【単年】 150 回（新規） R1 113 回（8 名） 【51 人/150 人＝34%】 ②村営バスの路線維持 5 路線（新規） 【5 路線／5 路線＝100%】	3	①利用回数が施設入所により半減してしまった。 ②一部予約バスに変更し、経費削減にも努め、5 路線を維持	①利用促進に向けて、富山地区への参入を郵便局と協議していく。 ②予約バスを拡充し、経費削減に努め、引き続き 5 路線を維持する。	不要 【住民課】 【生活課】
広 域	○広域的な連携の推進	・愛知県古民家再生協会 7/27 ・愛知県宅地建物取引業協会 3/29 ・三河町村広域交流協定 3/30	・広域連携協定の締結 R2 3 協定	・広域連携協定の締結【累計】 5 協定 【3 協定／5 協定＝60%】	3	空き家活用に向け 2 つの協定を締結したことにより連携を強化していきたい。また、幸田町との交流に向けた取り組みも検討していきたい。	3 つの協定を活かせるよう連携強化を図っていきたい。	不要 【全課】
環 境	○景観向上事業の実施	・あいち森と緑づくり事業との連携による景観向上。	・景観向上整備箇所数 R2 4 か所	・景観向上整備箇所数 【累計】 1 5 か所 【4 か所／15 か所＝27%】	1	・あいち森と緑づくり事業と連携した事業実施を進めており、国道 151 号での事業実施を計画的に推進した。	・引き続き、あいち森と緑づくり事業と連携して事業実施を進める。	不要 【農林土木課】
協 働	○住民協働による自治の推進	・区のあり方検討会の開催 ・地域づくり支援交付金制度の運用	・持続可能な行政区の手引き策定事業 R2 0 事業	・持続可能な行政区の手引き策定事業 1 事業（新規） 【0 事業／0 事業＝0%】	0	区長会や区長・女性部長合同会議など区のあり方を検討する中で、他の地域の情報共有ができた。	引き続き在り方検討会を通して、手引き作成を図っていく。	不要 【域振興課】
防 災 防 犯	○自主防災体制の強化 ○防災訓練の実施 ○防犯や交通安全啓発	・防災資機材整備 ・災害対策基金継続 ・富山地区ヘリポート整備	①防災資機材の整備数【累計】 R2 5 箇所 ②現役消防団員数の維持 R2 51 人	①防災資機材の整備数【累計】 1 0 か所 【15 か所／10 か所＝150%】 ②現役消防団員数の維持 5 0 人（新規） 【50 人／51 人＝102%】	5	①防災資機材は、令和 2 年度中に 5 か所に新たに防災倉庫を設置し、防災倉庫設置個所の累計は 16 か所となった。(160%) ②令和 2 年度の現役団員数は 51 人で維持目標団員数以上である。	①R1 年度末で 11 か所整備済みであり、R2～R6 は累計 10 か所の防災倉庫維持が目標。 ②現役団員数 50 人維持を目標に団員確保に努める。	不要 【総務課】
文 化	○伝統文化の維持	・花祭 3 地区、御神楽祭り 1 地区開催	・伝統芸能の維持 R2 4 地区	・伝統芸能の維持 4 地区 【4 地区／4 地区＝100%】	5	コロナ禍により各地区とも式典のみの開催となったが、中止には至らなかった	今後も継続して取り組む	不要 【教育委員会】